

Oceana とブランパンが メキシコ湾のサンゴ礁保護に向けた調査旅行を主導

ブランパンは 2020 年 10 月、海洋保全を専門とする世界最大規模の国際組織である Oceana と、独占ウォッチパートナーとして手を組むことを発表しました。このパートナーシップの一環として両者が 8 月 9 日に開始するのが、メキシコ湾随一の豊かな海洋環境を擁する 2 つの海域を対象とした「プロジェクト アラクラネス (Project Alacranes)」調査旅行です。この探査では、15 日間にわたってバホス デル ノルテと呼ばれるエリアを含むアレチフェ アラクラネス国立公園 (英語でスコピオンリーフ) を巡り、生物多様性の健全性を記録するとともに、陸地から離れているために人間の活動の影響をほとんど受けていないそのサンゴ礁の秘密を探ります。

1953 年に世界初のモダンダイバーズウォッチ「フィフティ ファゾムス」を発表以来、ブランパンと海とのつながりは 70 年近くにわたって絶え間なく続いています。ブランパンは、オーシャン コミットメントを通じて、20 件の主要な学術探検に資金を提供し、世界中の海洋保護区 (MPA) を 2 倍の広さに拡大することに貢献、その増加面積は 400 万 km² を超えています。さらに、ドキュメンタリー映画や水中写真の展示上映および出版物の発表で、いくつかの賞も受賞しています。

Oceana との数年にわたるパートナーシップを通じ、ブランパンは同組織が初めてメキシコで行う調査を支援します。今回、メキシコの海ではほとんど使用されてこなかった最先端の技術が活用される予定です。8 月 9 日から 23 日まで、専門分野の異なる 10 人の科学者が同海域を調査し、環境 DNA 分析とフォトモザイクモデリングを行います。これを用いてサンゴ礁の 3D マップを作成し、そこに生息する、あるいは回遊ルートの一部として利用する生物種の個体数調査を可能にするのです。「フィッシュハンター・プロ」というソナーを使用して得られる魚群情報によって、商業的利益のある漁種資源を監視するためのパラメータを定め、漁業資源の持続可能な管理に向けたガイドラインを策定することができるようになります。

Oceana メキシコのエグゼクティブ ディレクターであるレナータ・テラスは 7 月 27 日の記者会見で、「私たちの目的は、この海洋保護区の現状を判断するための科学情報を収集し、この重要な生態系の未来を保護し保証するために必要な変化を促すべくこの情報を利用することです」と話しました。

テラサスの説明によると、メキシコは生物多様性がとくに豊かな 17 の国の一つに数えられ、ユカタン半島の北 140 km に位置するスコピオンリーフはメキシコ湾南部で最大規模を誇るサンゴ礁です。このサンゴ礁の調査と保護が必要なのは、そこに多数の絶滅危惧種が生息するからであり、また商業的価値のあるさまざまな種がそこで繁殖した後に、漁業が重要な経済的要因である地域に回遊するからです。

プロジェクト アラクラネスの調査旅行が行われる海域には、少なくとも 136 種の魚類、34 種のサンゴ、さまざまな種のイルカ、およびクイーンコンクやハタなど商業的価値の高い海洋動物が生息しています。

テラサスによれば、「保護区でありながら、スコピオンリーフも汚染や違法漁業、破壊的な影響をもたらす観光といった対処を要する脅威から免れてはいません。バホス デル ノルテの場合、法的な保護がないためにリスクはさらに大きくなります。」

「メキシコの海洋生息環境を回復し保護すれば、とりわけ地元の漁業者にとって経済的・社会的利益が増大します。こうしたサンゴ礁を十分に保護することで、将来の世代はその美しさと資源を確実に享受できるのです」と、Oceana の生息環境キャンペーン ディレクターであるミゲル・リバスは述べています。

プロジェクト アラクラネス調査隊はカリビアンクラーケン号に乗船し、まずバホス デル ノルテのサンゴ礁を巡ります。人間の活動の影響から遠く離れた、あまり知られていないこの海域では、その生物学的な豊かさに関する調査がこれまでほとんど行われていません。ここからプエルト・プログレソに戻って補給し、34 時間後にスコピオンリーフに向けて出航する予定です。

ブランパン社長兼 CEO マーク A. ハイェックは次のように述べています。「ブランパンは、最初のモダンなダイバーズウォッチ、『フィフティ ファゾムス』を発表した 1950 年代初めから、海と極めて近い関係を築いてきました。オーシャン コミットメントを通し、ブランパンは人間の生活における海洋の重要性に対する意識を高め、その保護に貢献することを目指しています。そのために、私たちは 3 つ柱を中心とした取り組みを行っています。それは、水中世界がもたらすものを示し、人々の興味を喚起する美しさ、関心を向ける必要のある地域について学ぶ知識、効果的な海洋保全を保証する保護です。私たちは、この 3 つの基準すべてを満たすプロジェクト アラクラネスに参加できることを光栄に思うとともに、メキシコの生物多様性と地域の人々、ひいては世界に変化をもたらすための探査、科学的調査、アドボカシーに発揮される Oceana の力を信じています。」

一部の予備調査結果の動画資料は Oceana のソーシャルメディアで公開されます。関心のある方はこの科学調査を Twitter と Facebook の @OceanaMexico および Instagram の @oceanamexico で緊密にフォローすることができます。